



老朽化対策が急務の小代物産館



ステーション入り口国道9号線長板



岸本 正人 議員

朝来バイオマス発電所が停止されるとの報道があった。町としても温暖

**森のステーション美方どうなる？
これまでと同様に活動を推進します**



化対策、未利用の森林資源の活用、林業の振興等、ステーション美方の運営は良い事業だと思う。本年も11月で200tの出荷実績が進んでいる。町長も推進実行委員長として関わっている。地域おこし協力隊の配置(本年度は応募なし)、年25万

円の支援もしている。そこで今回の停止のいきさつ、今後の方向性等について問う。
町長 バイオマス発電所は、県・朝来市・県森林連合会・関電等が協力し、平成29年度より本格稼働したものです。ウッドショック、木材価

格の高騰で燃料用チップ材も高騰し、確保が困難になったと聞いています。森のステーション美方は、従前から複数の取引先があり、特に影響はなく、これまでと同様に、新温泉町・北但西部森林組合と共に推進し、森林資源の有効活用を図ります。



田野 公大 議員

**小代物産館は重要拠点として維持すべき
改築を含めた施設の在り方を検討します**



の玄関口にあることから、適正管理の下、継続維持していくべき重要施設であると考えているが、町の方針を問う。

小代物産館は、小代区にとって、観光振興及び情報発信や名牛の里であるルーツをアピールする場として、また、畜産振興を含めた重要拠点ともなっており、立地も小代

町長 小代物産館は、小代区の玄関口として、消費拡大コーナーや県民交流広場、小代区の観光情報を発信する小代観光協会の事務所が所在するなど、観光振興の拠点であることに加え、畜産振興の拠点としても重

要な施設であると認識しています。個別施設計画においても、継続維持の方針としてはありますが、竣工から33年が経過し、施設の経年劣化が進んでいることが課題となっており、今後については、施設の強度等を確認し、改築を含めた施設の在り方を検討したいと考えています。